

本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・石川勝紀

別院公式 LINE



報恩講

今年の報恩講は11月13日(木)の竜谷保育報恩講に始まり、16日(日)の満日中まで、4日間、合わせて12座のお勤めがありました。ご講師には東京教区茨城西組西光寺住職で本願寺派勧学の相馬一意師に出向いただきました。相馬師は報恩講を通して「誓願一仏乗のみ教を味わう」と題してお話しされ、連日ご参拝の皆さんはうなずき、お念仏してお聴聞されていました。

竜谷保育報恩講は、園児たちが讃歌・献花・献花・奉讃文・おつとめ・おやくそくを唱和し、輪番のご法話を聞きました。その後、マジシャン「がつしー」さんのマジックショーがあり、園児たちは立ち上がったたり、身を乗りだして楽しい時間を過ごしました。

お野菜等をご進納された方々

梶原雅仁様 谷口芳佐様
野原ひとみ様 伊藤篤二様
堀武様 西田利文様
野村美恵子様 青山誠治様
大井みさ様 茂古沼利明様
西田金雄様 下林美代子様
藤村由恵様 関谷光丸様
ありがとうございます
(順不同)

12月のご案内

月例布教 1日(月) 2日(火) 13時半〈講堂〉
常例布教 13日(土)~16日(火) 〈本堂・講堂〉
宗祖月忌法要 15日(月)~16日(火) 13時〈本堂〉
おすす払い 23日(火) 7時〈本堂〉
除夜会 31日(水) 23時半〈本堂〉

1月のご案内

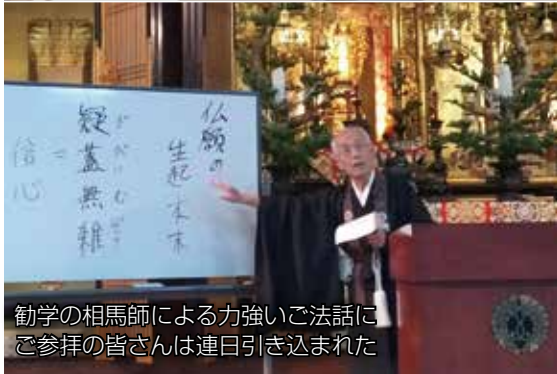
元旦会 1日(木) 9時〈本堂〉
常例布教 13日(火)~16日(金) 〈本堂・講堂〉
宗祖月忌法要 15日(木)~16日(金) 13時〈本堂〉

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに衷心よりお見舞い申しあげます

※12月27日(土)~1月14日(水)の月忌参りはお休みさせていただきます。祥月・中陰参りはうかがいます



11月13日 竜谷保育報恩講
帯広幼稚園、鉄南保育園、藤花保育園、さくら保育園の
園児が参加された



勧学の相馬師による力強いご法話に
ご参拝の皆さんは連日引き込まれた



11月13日 御伝鈔拝読 上巻
スクリーンに御絵伝を映し現代語訳の字幕をつける、初の試みを実施

報 恩 講

今年も無事に報恩講がとりまりました。写真で振り返ります。



11月7日 境内のお掃除をされる門徒さんたち

←
11月7日 仏具の
おみがきをされる
門徒さんたち



11月14日 御伝鈔拝読 下巻



10月28日 帯広幼稚園の年長さん全員で
本堂の畳拭きをしてくれた



11月7日 境内のお掃除をされる門徒さんたち



11月13日 竜谷保育報恩講のあと、
がっしーさんのマジックショーに
園児たちはくぎづけ

ご法話



師走の忙しい中で

文：伊澤裕真

今年もあとわずかとなりました。一年の締めくくりにあたって、ご自身のお念仏生活についても、振り返ってみませんか。

お念仏とは、阿弥陀さまの名^なを「南無阿弥陀仏」と称^{なづ}えることです。

親鸞聖人はお念仏には「自力の念仏」と「他力の念仏」があるとされました。自力の念仏とは、念仏を自分のおこないとみなし、自分の力や業績のようにとらえて、それによってより良い往生をしたいとする考えです。

しかし聖人は、阿弥陀さまの本意は、他力の念仏のほうだといわれます。

他力の念仏とは、阿弥陀さまの本願を信じ、南無阿弥陀仏をと念え、そのはたらきにすべてを委^ゆねるお念仏です。阿弥陀如来の本願とは、煩惱にまみれ迷いを深める悪い行いしかできないような者をこそ、必ず救おうとされるはたらきです。親鸞聖人は次のように詠^よまれました。

無明^{みよう}長夜^{じやうや}の灯炬^{とうこ}なり

智眼^{ちげん}くらしとかなしむな

生死^{しやうじ}大海^{たいかい}の船筏^{せんぱつ}なり

罪障^{ざいしょう}おもしとなげかざれ

『正像末和讃』 註釈版606頁

この一年、お念仏で開運を願ったり、悪いことをチャラにしたいとお念仏したこと、ありませんか。逃げまどい、かなしみ、なげく私を追いかけて、「われにまかせよ、必ず救う」と、はたらき続けてくださっている阿弥陀さまに抱かれていることを、師走の忙しさの中でも忘れないようにしましょう。

12月 オススメの一冊

『じぶんの花を』

相田みつを 著／文化出版局 刊
A4変形判／86頁
1815円（税込）

孤独だな、自分に自信がもてないな、なかなかやる気がでないな、そのような時におすすめしたい一冊です。

「……生きる時間がそのまま時間 生きた時間がそのままのち……どういう時間を作りながら生きるか？ それを決めるのは、だれでもない「いつでもこの自分!!」（松も時なり竹も時なり——いのちと時間」より）

読んでいると、誰かに認めてもらう必要はない、わたしで良かった、「じぶんの花」を育てる時間を大切にしたい、と思えてきます。

年の瀬には、じぶんのために時間をつくり、じぶんの花をじっくり見つめてみませんか。（松原）

永代経懇志ご進納

（ご進納日 10月15日～11月14日）

常例布教ご講師紹介

◆12月13日(土)～16日(火) 13時

吉川 恭 師

(山陰教区千須賀組永照寺)

2026 (令和8) 年

◆1月13日(火)～16日(金) 13時

佐々木了俊 師

(東京教区多摩組明西寺)

◆2月13日(金)～16日(月) 13時

山田教尚 師

(東海教区鈴鹿組存仁寺)

15日と16日は宗祖月忌法要に引き続き、本堂で布教します。それ以外は、講堂でおこないます。

皆さまのお参りをお待ちしております。

年末年始のご案内

おすすめ 12月23日(火) 7時

除夜会 12月31日(水) 23時半

元旦会 1月1日(木) 9時

防寒対策をしてお越しください。

お寺で七五三

「めぐみのつどい」

11月8日(土)、帯広別院本堂で初めてとなる七五三のお祝い「めぐみのつどい」が執り行われました。

晴れ渡る秋空のもと、3歳、5歳、7歳を迎えたお子さまが華やかな晴れ着に身をつつみ、ご家族とともにお参りされました。

受付を終えたご家族から順に仏さまと記念撮影し、皆さんもいっしょ



に「らいはいのうた」のお勤め、石川輪番からお祝いの言葉、記念証書、館の花束が授与されました。

石川輪番は、「七五三おめでとうございませう。お子さまの健やかな成長を仏さまに報告し、ともに慶ばせていただきました。今後も人生の節目の慶事にお寺にお参りください」とお祝いしました。

式典のあとは、本堂や境内で写真を撮るご家族の笑顔があふれ、穏やかで温かな雰囲気につつまれました。

別院ではこれからも地域のお寺として、多くの方に喜んでいただき、家族の絆と地域のつながりを育む場



となるよう、新たな取り組みを進めてまいります。

(松原)

自他ともにたいせつな言葉紹介 **人我兼利** じんがけり

諸行無常〔釈尊〕

これは、お釈迦さまが説かれた根本的な三つの真理「三法印」の一つです。簡単に記すと、すべての物事や現象は、絶えず変化してとどまることがないという意味です。◆私たちがを取り巻く社会や地球環境は、留まることなく移り変わります。しかし私たちは、変化に気づくことができないことも多いです。川の水面を見ると同じせせらぎに見えますが、常に新しい水が流れ続けていて、とどまってはいません。◆私たちは変わりゆくことに対応できていない、あるいは変化に弱いのかと思います。それが「無明(おろかさ)」といわれる煩惱の所業かと思えます。年の瀬を迎えますが、変わることのないお念仏のお心をいただきながら、新たな年を迎えたいと思います。(石川)